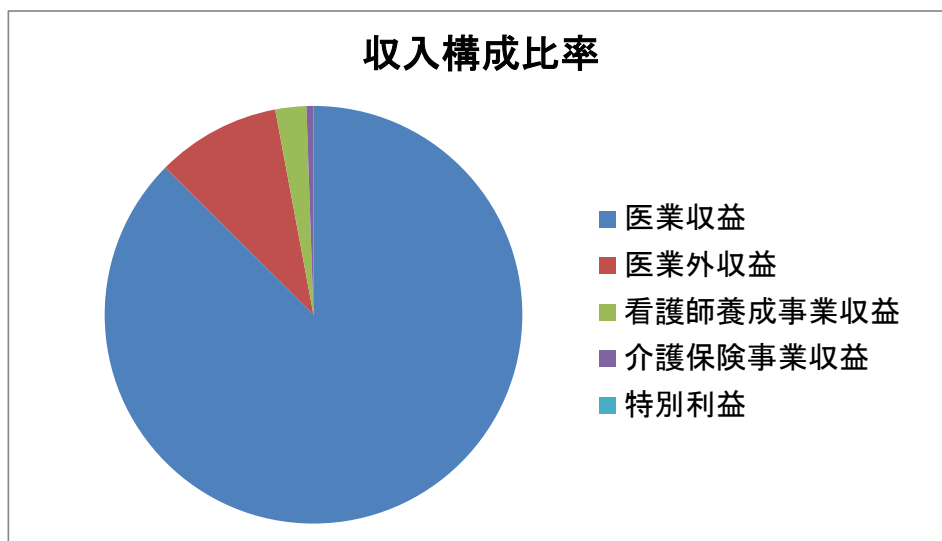


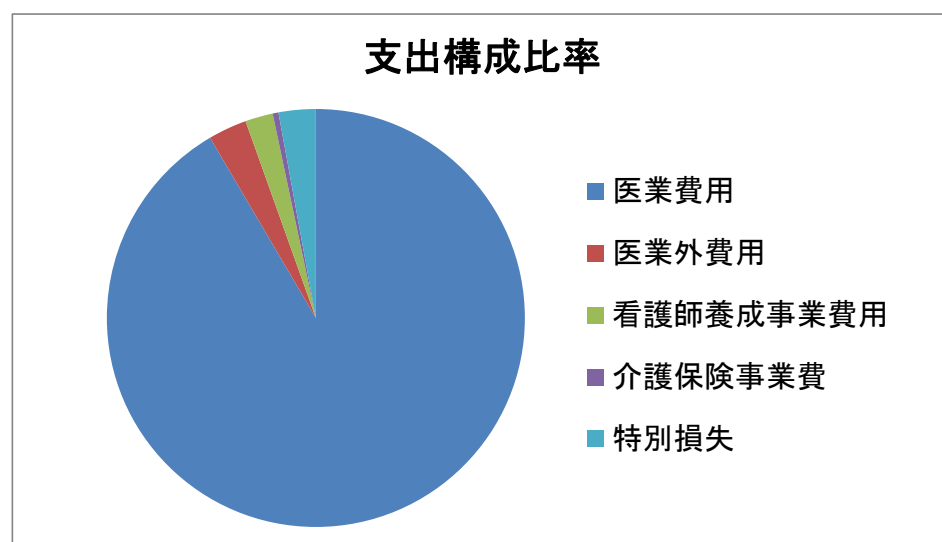
香取市東庄町病院組合立国保小見川総合病院事業会計

平成26年度決算状況



収入 (単位:円)

項目	決算額	構成比
医業収益	2,660,375,021	87.4%
医業外収益	292,352,123	9.6%
看護師養成事業収益	73,081,622	2.4%
介護保険事業収益	16,579,182	0.5%
特別利益	12,390	0.0%
合計	3,042,400,338	100.0%



支出 (単位:円)

項目	決算額	構成比
医業費用	3,031,025,365	91.6%
医業外費用	98,841,880	3.0%
看護師養成事業費用	70,696,888	2.1%
介護保険事業費	14,893,057	0.5%
特別損失	94,969,963	2.9%
合計	3,310,427,153	100.0%

※各表の計数は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

香取市東庄町病院組合立国保小見川総合病院の経営状況

平成 26 年度の組合立国保小見川総合病院の状況について、市民、町民の皆さんにお知らせいたします。

■業務の状況

平成 26 年度の患者数の状況は、入院延患者数が 2 万 8,041 人となり前年度に比較し 1,603 人減少し、1 日平均の入院患者数は、4.4 人減の 76.8 人となりました。

また、外来延患者数は、10 万 3,563 人となり前年度に比較し 3,317 人減少し、1 日平均の外来患者数は、424.4 人となりました。

■決算の状況

平成 26 年度の病院総事業収支は、2 億 6,802 万 6,815 円の純損失となりました。

収入における医業収益は、前年度に比較し 8.5%減の 26 億 6,037 万 5,021 円となり、総事業収益では、6.6%減の 30 億 4,240 万 338 円となりました。

一方で、支出における医業費用は、前年度に比較し 2.7%減の 30 億 3,102 万 5,365 円となり、総事業費用では、0.8%増の 33 億 1,042 万 7,153 円となりました。

収益では、その他医業収益で増収となったものの、患者数及び手術件数が減少したことにより入院収益、外来収益などが減収となりました。

医業費用では、退職手当負担金の大幅な減少により職員給与費の減額および患者数の減少などにより材料費が減額となったものの、非常勤医師の増員による賃金の増額および地方公営企業会計基準の見直しの影響を受け減価償却費の増加、賞与については、前年度 12 月から 3 月までの 4 ヶ月分の賞与引当金を特別損失に計上しています。このほか、消費税増税の影響により控除対象外消費税雑損失が増額となりました。

■事業の状況

平成 26 年度の医療機器整備事業は、電子内視鏡システム一式、超音波画像診断装置、心電計などの老朽化した機器を中心に整備しました。また、国保小見川総合病院の建て替え整備については、新病院が担うべき役割や有すべき医療機能を明確にするために国保小見川総合病院建て替え整備基本構想・基本計画を策定しました。